

横浜市市民協働推進センターイベント「対話&創造ラボ 2022」で 共創プラットフォーム「Buddyup!」を活用！実証検証に取り組みます

横浜市市民協働推進センターでは、市民参加型の対話イベント「対話&創造ラボ」を、令和3年12月3日（金）を皮切りに、令和4年3月まで全4回開催します。今年度は、イベントと合わせ、富士通株式会社が提供する共創プラットフォーム「Buddyup!」を活用した実証検証に取り組みます。

1. 経緯

「対話&創造ラボ」は、横浜をもっと豊かで暮らしやすい街にしていきたいとの思いをお持ちの方々が集い、さまざまな実践者や研究者を交えて“協働”の価値とその魅力に触れ、つながり対話することで新たな知を生み出す場です。昨年度からスタートし、2年目となる今回は、会場参加・オンライン参加を問わず、参加者同士の継続的な関係づくりができるよう、富士通株式会社が提供する共創プラットフォーム「Buddyup!」を活用し、新しい生活様式に対応した交流方法の実証検証（※）の機会ともしてまいります。

（※）この実証検証は、横浜市と富士通株式会社及び国立大学法人東京大学が令和2年9月17日付で締結した「ウィズコロナ時代の社会課題をデータ活用と公民連携によって解決するための連携協定」に基づき実施するものです。
(<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/seisaku/2020/0917partnership.html>)

2. 「対話&創造ラボ 2022」の概要

今年度は「社会をアップデートする【協働】を紐解こう！」をテーマに全4回開催します。

- ・第1回 令和3年12月3日（金）19時から21時
テーマ：社会をアップデートするための【協働】の解像度の高め方
ゲスト：異変と適応を繰り返し生き残るコンセプトをつくる
「進化思考」著者 ^{たちかわえいすけ}太刀川 英輔 さん（NOSIGNER 代表）
- ・第2回 令和4年1月21日（金）19時から21時
テーマ：社会をアップデートするためのパーパスモデル
ゲスト：共通目的を可視化するためのツール「パーパスモデル」
を編み出した ^{きびゆりえ}吉備 友理恵 さん
（一般社団法人 Future Center Alliance Japan/株式会社日建設計イノベーションセンター）



↑ 昨年度開催の様子



※第3、4回は詳細決定後にHP (<https://kyodo-c.city.yokohama.lg.jp/news/20211203/>)にてお知らせします。

3. 「Buddyup!」と実証検証の概要

「Buddyup!」は、イベント参加者をリアルタイムに結びつけ、具体的な目的を実現するためのチームを生み出すデジタルサービスです。イベントの参加者が入力した自己紹介文から興味等を表すキーワードをAIが自動抽出し「タグ」として登録することで、参加者の興味等の可視化が可能となります。今回、このサービスの交流を促す効果や、参加者同士の情報交換やコミュニケーションのできる場の提供と継続的な関係づくりへの貢献に関して実証検証していきます。



お問合せ先

(記者発表内容全般について)市民局市民協働推進課長	岡本 今日子	Tel 045-671-4735
(イベントの内容について)横浜市市民協働推進センター統括責任者	吉原 明香	Tel 045-671-4732